

MSUB 交換留学報告書

文学部英語英米文学科 4 年

尾平愛菜

私はこの交換留学を通して、当初の目標であった米文学を学ぶこと、日本とアメリカの文化の違いを経験して理解することを達成することができた。MSUB で、1 年を通して文学に関する授業を履修することで文学をどのように読み、分析していくかを改めて学ぶことができた。

最初の学期では文学入門の授業を受け、熊本県立大学で学んだことのある作品から初めて触れる作品まで様々なものについて学んだ。週に 3 回の授業でそれぞれ違う作品を扱ったり、複数の作品を 1 回の授業の中で扱ったりすることもあったので、読書に割かなければならない時間が多く、最初の 1 か月は大変だと感じるが多かったが、読書にかけられる時間をどんどん減らすことができた。授業の終盤にはシェイクスピアの「オセロ」やブラムストーカーの「ドラキュラ」などの長編作品を扱い、最終レポートでは「オセロ」について分析し、自分の考えをまとめることができた。

次の学期ではモンタナに関する文学を学ぶ授業を履修し、モンタナ出身の著者によるノンフィクションの小説や詩を多く学んだ。この授業でも読書量が多く苦勞することもあったが、モンタナにおける文学の歴史を深く知ることができた。また、文化や言語の多様性に関する授業の中で、日本とアメリカの違いだけでなく、韓国、中国やクロアチアなどのヨーロッパの国々との違いも学ぶことができた。この授業の中でプレゼンテーションをする機会が 3 回程あったので、人前で英語を話すことの経験を積むことができた。

BFF プログラムによって、アメリカの文化を実際に体験することができ、とても良い経験となった。誕生日やクリスマスと一緒に過ごしたことで共通点と相違点を見つけることができた。特に誕生日ではアメリカでお酒を飲むことができる歳になったので楽しく過ごすことができた。クリスマスにはツリーの飾りつけを家族みんなで行うことや、食べる料理などの点で違いを感じた。プレゼントやケーキは日本と同じであると感じたが、全体的にアメリカの文化ではクリスマスは家族で過ごす行事で私が思っていたよりも日本とは違うのだなと思った。サンクスギビングやイースターは日本ではあまり祝うことがない祝日だったので、新しい文化を知ることができた。また、私が訪れた多くの家では食事の後に家族でボードゲームやカードゲームをすることが多いようだった。家庭によって違うと思うが日本ではそのような家庭はあまり見られないのではないかと思った。

文学の他にも様々な授業を履修することができたため、政治に関する授業や中国語などの授業を受けた。英語で理解することが難しい部分も多くあったが楽しく学ぶことができた。またそのような授業でプレゼンテーションやディスカッションを行うことが自信や向上心に繋がった。ライティングの授業はオンラインだったが毎週の課題が多く、ライティングの基本をしっかりと学ぶことができる授業であった。MSUB での生活を通して学力と自分自身の考えにおいて成長することができた。この経験をこれからの大学生活に生かすことができるようにしたいと思う。